

# 第24回日本レジャー・レクリエーション学会 大会の開催にあたって

日本レジャー・レクリエーション学会

会長 浅田 隆夫

ここ何年か生物多様性の危機が叫ばれています。92年6月、ブラジルで183ヶ国、約4万人の参加者を集めて行われた地球サミットでもこの問題について様々な角度から提案がなされ、「アジェンダ21」を宣言して11日間の幕を閉じました。これに関連して思い出すのは、日本人の心性の特質でもある「ホンネ」と「タテマエ」を相手により使い分けたり、「なりゆきまかせ」とか「なしくずし」、「恥の文化」といわれるような、ひとりよがりの勝手な行動が最近多くみられることです。

例えば、ゴミ集積所には普通・分別・粗大ゴミと区別して出すことになっているのに、それが守られず、また、所定の容器にこれを入れないため、いつもカラスが食べ物の残物を突き出し、道路に散乱させています。さらに街角のジュースボックスに100円銀貨を入れて罐ジュースをとり出し、それを歩きながら飲み終えると、ところ構わず捨てたり、駅構内にはチューインガムの吐き捨てや煙草を投げ捨てる人も目につきます。いま、日本人に欠けているものの一つに、このような環境倫理欠如の問題があります。

思うに、本学会は研究対象を個人や集団（組織）におき、それらが一定の環境の中で遂行されるL/R行動を他の諸条件との関わりで、研究開発していこうとする領域が中心的な一つ分野となっているだけに、まず、研究者自らが環境倫理的な研究態度で研究に取り組むことが望まれるし、また、このような態度で諸事万端事に当たって欲しいものだと思います。

L/R問題は、環境保護型よりはとかく環境破壊型になり易く、ゴルフをするにはゴルフ場が、スキーを楽しむにはスキー場が……移動するには自動車や飛行機による大気汚染が……等々、自然環境・資源枯渇に関わる問題ともなり、とかく環境破壊に繋がることになりやすいといえましよう。

したがって、これからは生<sup>なま</sup>の人間が環境に迷惑をかけずに、L/Rを維持遂行できるL/R構造をいかにすれば創造することができるのか、特に、国土の狭隘な日本だけに、私達はこの環境保護の上に立ったL/Rのあり方の追求に関心と意欲を向けねばなりません。このような視点にたった成果を北海道大会に期待したいと思います。

## 大会組織

大会名誉会長 石川 武 拓殖大学北海道短期大学学長  
大会会長 浅田 隆夫 日本レジャー・レクリエーション学会会長  
〈日本レジャー・レクリエーション学会第24回大会組織委員会〉（当日まで）  
大会組織委員長 永嶋 正信 東京農業大学  
副委員長 鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学  
事務局長 鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学  
総務 坂口 正治 東洋大学  
志村 健一 道都大学  
渉外 松浦 三代子 東京女子体育大学  
西田 俊夫 淑徳短期大学  
企画 寺嶋 善一 明治大学  
長屋 昭義 兵庫県立看護大学  
鈴木 一央 北見工業大学  
経理 大森 雅子 東京女子体育大学  
三浦 裕 北海道教育大学旭川校  
鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学

〈日本レジャー・レクリエーション学会第24回大会実行委員会〉（当日）

大会実行委員長 鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学  
顧問 永嶋 正信 東京農業大学  
監事 志村 健一 道都大学  
橋本 信 拓殖大学教員  
広報・案内 拓殖大学事務職員  
受付 前田 和司 北海道教育大学旭川分校  
拓殖大学北海道短期大学学生 6名  
接待・座長 長屋 昭義 兵庫県立看護大学  
鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学  
会計 三浦 裕 北海道教育大学旭川校  
鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学  
北海道教育大学大学院生（2名）  
懇親会 鈴木 文明 拓殖大学北海道短期大学

# 日本レジャー・レクリエーション学会

## 第24回大会開催要領

1. 主 催 日本レジャー・レクリエーション学会
2. 主 管 日本レジャー・レクリエーション学会  
第24回大会実行委員会
3. 日 時 平成6年9月10日(土)・11日(日)
4. 会 場 拓殖大学北海道短期大学  
〒074 北海道深川市メム4558  
電話 01642-3-4111
5. 日 程 9月10日(土)  
10:00 常任理事会  
11:00 理事会  
12:00 受付  
13:00 基調講演  
14:00  
14:15 シンポジウム  
17:00  
17:30 懇親会  
9月11日(日)  
8:30 受付開始  
9:00  
研究発表  
12:30  
13:15 総会  
14:15  
14:30 公開講座  
16:30 終了
6. 研究発表 レジャー・レクリエーション研究大会第24回大会  
発表論文集として掲載

# 第24回日本レジャー・レクリエーション学会 大会本部企画

## □大会テーマ

〈21世紀を迎えるレジャー・レクリエーション環境〉

－北海道の自然と生活文化に学ぶ－

## □基調講演

9月10日(土) 13:00～14:00

〈21世紀に向けてのライフスタイルを展望する〉

－20世紀の社会を総括して－

講師 鷲田 小彌太 札幌大学教授

## □シンポジウム

9月11日(日) 14:15～17:00

〈21世紀を迎えるレジャー・レクリエーション環境〉

－北海道の自然と生活文化に学ぶ－

### 1. 「北海道の自然・生活文化とレジャー・レクリエーション」

〈森山 軍治郎〉 専修大学北海道短期大学教授

北海道は我が国で最も豊かな自然環境と活動実績を有したレジャー・レクリエーションの先進地域である。そこで北海道の自然や歴史・文化とレジャー・レクリエーション活動との関わりに関する議論を通して、21世紀におけるレジャー・レクリエーションの在り方を考える。

### 2. 「北海道の豊かな自然の利用と保護」

〈生方 秀紀〉 北海道教育大学教授

- ・自然とレジャー・レクリエーションとの関わり、自然の楽しみ方
- ・豊かな自然の保護、持続的活用

3. 「北海道における産業構造の変化とレジャー・レクリエーション対応」

〈下川 哲央〉 北海道銀行調査部部長

- ・ 第一次産業のサービス産業化（鉱業、農業、畜産業）
- ・ リゾート事業への巨大な投資と経済状況の変化
- ・ 地域振興との関わり

4. 「アイヌの遊び、祭りと北海道の自然」

〈魚井 一由〉 北海道旭川市博物館

- ・ アイヌの生活における自然との豊かな関わり
- ・ アイヌの人々の生活の楽しみ方と祭り

司 会

〈寺嶋 善一〉 学会常任理事・明治大学教授

□ 公開講座 9月11日（日）14:30～16:30

テーマ 「遊びとまちづくり」

1. 「豊かな遊びのまちづくりー楽しみながらまちづくりー」

講師 〈前野 淳一郎〉 学会副会長・㈱スペースコンサルタンツ会長

2. 「遊びやスポーツの変化に対応した新しいまちづくり」

講師 〈宮下 桂治〉 学会常任理事・順天堂大学教授

司会 〈永嶋 正信〉 学会理事・東京農業大学教授

\* 今年度は、地域を対象とした公開講座を学会として提供します。学会員の皆様も御参加下さい。

# 参加者へのご案内

## 1. 受付

9月10日(土) 午後12:00より受け付け致します。

下記参加費をお支払ください。

正会員・特別会員	4,000円
名誉会員・賛助会員	無料
その他一般の方(当日会員)	2,000円(1日につき)
資料代	1,000円

## 2. 大会本部

拓殖大学北海道短期大学

## 3. 車輛の入講について

駐車場は十分に用意してあります。

## 4. 休息と食事

休憩室が用意されています。昼食はお弁当をご利用ください。

## 5. 会場内禁煙のお願い

発表会場は禁煙です。喫煙所をお願いします。

## (発表者へのお願いとお知らせ)

### 1. 発表受付

各発表会場の入り口で受付を行います。各自の発表時刻の30分前までに受付をすませ、「次演者席」におつきください。

### 2. 発表資料

研究発表補足資料等については、100部を発表受付時に提出してください。資料には、必ず演題番号(例・A-1,A-2)、演題、演者氏名を明記してください。

### 3. スライド

スライド映写を希望される方は、発表受付にあるホルダーに、各自で順序正しく正像に写るように入して、発表受付にご提出ください。スライドの大きさは35mmフィルム用の標準マウント(50×50mm)に限ります。

### 4. 発表時間

各発表演題につき、発表15分です。(13分ーベル1回、15分ーベル2回)。なお、質疑討論は、各発表セッション毎にまとめて行います。(10分、セッション終了ーベル3回)

## (座長へのお願いとお知らせ)

各発表会場の入口で座長受付を行います。座長時間の30分前までに必ず受付を済ませていただき、開始20分前までに「次座長席」にお座りください。

時間を厳守して進行させるようにご協力ください。

質疑討論は、各セッション毎にまとめて該当時間でとり行うようにお願いします。

発表取り消しなどで空き時間ができた場合は、討論や休憩にあてられるなど、自由にご裁量下さい。

## (討論者・質問者へのお願い)

挙手のあと、座長の合図を待って、所属、氏名を告げたのち、参加者にわかるように発言して下さい。